

# 縄文の布をつくる

十日町市や津南町に伝わるアンギン編みに似た編み方で縄文人たちも、布をつくっていたことがわかっており、土器の底などに残る圧痕でもその跡をみるることができます。

11月はカラムシという草の糸と、編み台やコモツチなどの道具を使って、コースターをつくります。

縄文人たちの布の手触りをぜひ確かめてみてください。

## 『アンギン編み体験！』

- ◇日時 11月26日(日) 午前10時～午後3時
- ◇定員 10名(対象 小学生以上)
- ※小学生1名につき保護者1名同伴
- ◇持ち物 汚れてもよいタオル、定規、はさみ  
座布団、昼食・飲み物
- ◆申し込み期間 11月10日(金)～23日(木・祝)



## アンギン編み

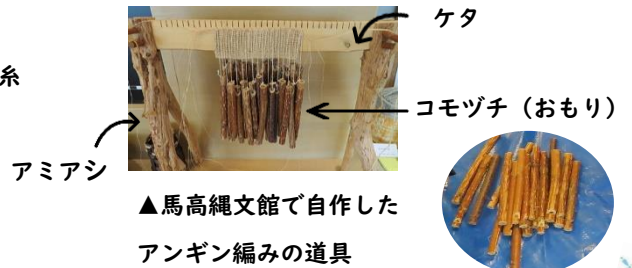
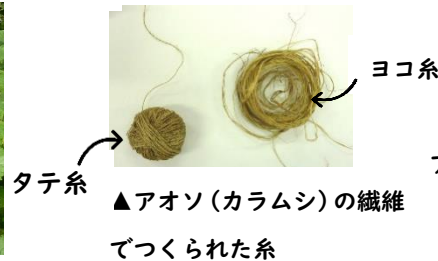
アンギン編みは、類似の製法が縄文時代の土器の底の圧痕や、出土した布片にもみられます。

「アンギン」とは、アオソ・アカソ・イラクサなどの植物の繊維でつくった糸を材料として、ヨコ糸・タテ糸をねじり編みした布製品の総称として使われる言葉です。



◀ アンギン編みに類似した布のあとがのこる縄文土器の底  
(長岡市・山下遺跡出土)

### ▼馬高遺跡に自生したアオソ(カラムシ)



## 縄文石器入門

### 馬高縄文館 令和5年度 冬季企画展

- 『縄文石器入門～縄文石器の特色をさぐる』
- 期間 令和5年11月25日(土)～令和6年3月10日(日)
- 観覧料 200円(高校生以下無料)
- 開館時間 午前9時～午後5時
- ※入館は午後4時30分まで
- 休館日 月曜(休日の場合は次の平日)
- 年末年始 12月28日(木)～1月4日(木)

馬高縄文館の冬季企画展は、恒例の『縄文石器入門』です。

長岡市立科学博物館所蔵のコレクションの中から、縄文時代草創期～晩期を網羅した、石器・石製品資料の優品を、原石や制作方法を交えて紹介します。

さまざまな石材と加工法を駆使し、生活や儀礼に必要な石器を生み出していった縄文人。ぜひその世界に触れてみてください。



※イベントのお申し込みは長岡市馬高縄文館(0258-46-0601)までお電話にてお願いいたします。

※現在開催中の展覧会『土偶と石棒—縄文の精神文化—』(～11月5日(日)まで)